

朝倉小学校区地域内連携協議会会報

第5号

発行日：令和4年3月5日

発行責任者：西 洋介

連絡先：朝倉小学校区地域内連携協議会 事務局携帯 090-1002-2670

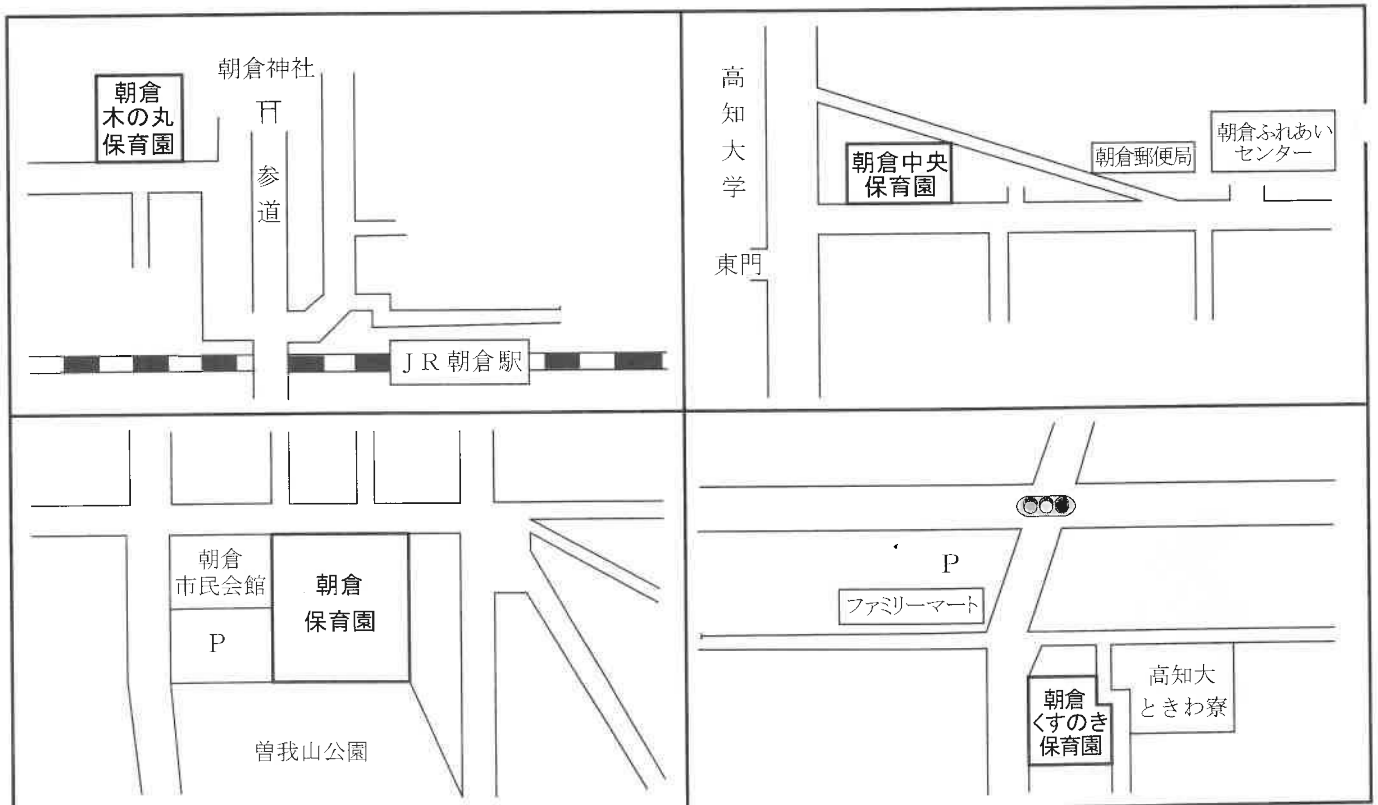
ページのご案内

- 1 会長挨拶・地図
- 2 朝倉木の丸保育園
- 3 朝倉中央保育園
- 4 朝倉保育園
- 5 カラー写真集
- 6 〃
- 7 朝倉くすのき保育園
- 8 朝倉小学校
- 9 朝倉中学校
- 10 参加団体・編集後記他

会長挨拶

会長 西 洋介

昨年は、ワクチンの接種も進み収束に向かうかと思われた新型コロナウイルス感染症が新年を迎え急速に拡大し、予断を許さない状況となっています。そんな中にあっても朝倉小学校区の地域内では今までと違った形での活動を試みようとされている頼もしい方々もいらっしゃいます。今年はこのからの時代に合った活動を地域の皆さんと共に考え、安心して暮らせる地域づくりを目指していきたいと思えます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。



げんきいっぱい 木の丸だより

『朝倉木の丸保育園』

園長 徳平 志保

本園は隣に朝倉神社、裏には赤鬼山（二月には鬼さんがやってきました）米田には、少なくなりましたが田畑があり自然に恵まれた環境にあります。お散歩に出かける時は、神様に無事をお願いし、「守ってくれてありがとうございます」とお礼を言ってお帰ってきます。地域の行事では、神社の輪投げや夏祭りの準備を見させてもらったり、秋祭りのおなげでみこしを引かせてもらったり、敬老会に招待していただいたりと、地域の皆様には大変お世話になっております。子どもたちの心に朝倉で育った楽しい思い出がいつまでも残りますようにと願っています。

園では、コロナ対策をしながらも「健康・仲良く遊ぶ・創造力豊かな子供」を保育目標に子どもたちに楽しい経験が増えるよう職員一同取り組んでおります。

今回はその活動の一部を紹介させていただきます。

夏ならではの・・・

毎年7月には夕涼み会がありますが、コロナウイルス感染症防止対策のため、残念ながら2年間中止となりました。

少しでもお祭りの雰囲気を感じ、園全体での夏祭りごっここと盆踊り会、そして、年長組だけの行事として肝だめしやゲームなどのお楽しみ会を行いました。



おいしい～

お店屋さんごっこ

手作りチケットを手に、年長組さんのお店にGO！
「いらつしやいませ〜」
「ハンバーガーとポテト下さい」
「うども食べたいな♡」
威勢のいい掛け声と、おいしそうにモグモグする小さい組のかわいい笑顔。大にぎわいの楽しいひと時でした。

みんなで散歩

年間を通してお天気のいい日は各クラスでお散歩に出かけます。木々の色づく季節には、どんぐり拾いに行き、「みつけた！」「ぼうしかぶつちゅう！」と、夢中の子どもたち。また、保育園の裏にある朝倉神社では、大きなイチョウの木の下に、黄色いじゅうたんが広がり、「それ〜！」と、落ち葉のシャワー。たっぷりと自然に触れ、四季の変化を感じています。



高知大学東隣りにある社会福祉法人朝倉福祉会朝倉中央保育園をご紹介します。

平成13年に改築をし、平屋の園舎から鉄筋コンクリート2階（耐震構造）の園舎になりました。園舎内1階には地域子育て支援センター「にこにこひろば」を開設しており末就園のお子さんにご利用頂いております。

朝倉中央保育園には「かきくけこ」の子ども像があります。深田靖元園長先生が書き記して玄関入り口の額にあります。「か」は項張る子「き」は協調性をもち「く」はくじけない「け」は元気な「こ」子どもです。

「かきくけこ」の精神で朝倉中央保育園では、令和4年1月現在122名のお子さんをおあずかりし、「遊びの中から学ぶ保育」子どもたち一人一人が主体性を持って0歳児から5歳児クラスの子どもたちが元気よく過ごしています。

コロナ禍での保育はいろいろと制約もありますが、地域の皆様方、保護者の皆様方に支えて頂きながら職員一同子どもたちの健やかな成長を願い見守り、保育を行っております。

朝倉中央保育園

園長 岸本章子

朝倉中央保育園



毎年10月に運動会を行っています。昨年はコロナ禍の為、年齢ごとに時間をずらして開催しました。みんなの心を一つにして行うパラバルーンは、する人も見る人もとても楽しいものです。来年度は、多くの人に見てもらえることを祈っています。

毎月、ホールで集会を行っています。お友だちのお誕生日をお祝いする誕生会や、季節の行事を知る為のお話など様々です。幼児組さんになると、姿勢よくしっかりと話を聞き、質問すると元気に手を挙げて応えてくれることも多くなります。



どのクラスの子どもたちも、外で遊ぶことが大好きです！砂遊び、三輪車、すべり台、おいかけっこなど、様々な遊びを楽しんでいます。遊びの中で小さなクラスのお友だちのお世話をしてあげる幼児組さんの姿や、お兄さんお姉さんに遊んでもらって嬉しそうな乳児組さんの姿を見ることができます。園庭は、全部のクラスが交流できる、そんな場所です。



【朝倉保育園】

令和3年度は125名の子ども達が、毎日、元気に保育園で過ごしてくれています。

新型コロナウイルス感染症の予防に、日々努めながら生活する中でも、一人一人の子どもの成長を感じたり、子ども達の姿に癒やされたりしています。

子ども達からのパワーは素晴らしいです

(0歳児) (ひよこ組)

「真似っこ」で繋がる心と笑顔

部屋に飾ってある絵本「だるまさんが」のキャラクターのモビールに箱積み木(牛乳パックで作ったもの)。それを見て、頭をよしよしなでる子どもがいます。絵本の中で、だるまさんが転び「どてつ」の場面があり、保育者が頭をなでている真似っこを楽しみ、笑顔が見られます。すると、周りにいた子どもたちも真似っこをはじめます。「上手ー」と拍手をすると、顔を見合い、笑いながら拍手の真似っこもします。

子どもたちの喃語と指さしに応え顔を見合わせ嬉しそうなお表情が見られた時、心が通じ合ったなど保育者として嬉しく感じています。

(1歳児) (ぺんぎん組)

絵本を見たり、手遊びをしたり、三輪車や固定遊具に挑戦したりと、いろいろなことに興味を持ち、毎日元気に楽しんでるペンギン組さん。

お友達のことを大好きで『おはよう』と登園してきたお友達を迎えに行ったり、『いっしょにしよう』『てつなごう』と誘ったり、いっしょに遊ぶことを喜んでいきます。

そんなペンギン組さんは最近鬼ブーム!! 二月三日の節分に向けて豆まきの練習中です。職員が鬼になると『おにはーそと!!』とみんなで力を合わせて鬼退治。先日は子どもたちの鬼のお面を作りました。ドシンドシンと歩いたり『鬼だぞ〜』と声を出したりして鬼になりきっていますよ。お面をつけたまま、ままごとあそびを楽しみ、小鬼のレストランをオープンしていました。

季節を感じながら子どもたちと一緒に楽しい、おもしろい、をたくさんみつけていきたいと思えます。



(1歳児) (はと組)

お家の人と毎朝にこにこ笑顔で来てくれるはと組さんです。おしゃべりが出てきて、「おはよー」と可愛いお声でごあいさつをしてくれるお友達もいるんですよ。

元気いっぱい好奇心いっぱいの子ども達は、お部屋でもお庭でも色々なものに興味を持って遊んでいます。お友達のことにもどんどん興味が出てきて、お友達のお名前を嬉しそうに呼んだり、「いっしょにあそぼ」「たのしいねえ」などどかわいくてほほ笑ましい子ども達の声が聞こえてきたりしています。

今年度も残すところ後少しとなりましたが、はと組の子ども達といっぱい遊んで楽しい毎日を送りたいと思えます。

(2歳児) (りす組)

寒い日が続いていますが、毎日元気いっぱいあそんでいます。最近では、かるたあそびやわらべうたあそびを楽しむ子どもたち。

『かごめかごめ』『なべなべ』がお気に入りです。誘ったり、『○○ちゃん、いっしょにしよう』とお友だちを誘ったのしんだら、やり取りがとつてもかわいくてほっこり♡

保育園から帰る時、「はいくえん、たのしかった」の言葉に嬉しく感じます。これからは子どもたちの成長を見守りながら、たのしく過ごせるようにしていきたいと思えます。

(2歳児) (こあら組)

毎日元気いっぱい!目の前でおこるひとつひとつの出来事に心を動かせる、感性豊かなこあら組です。

こあらぐみでの生活を通して話す言葉の数がぐんと増えたり子どもたち、ままごとの中に「はんできたでー!おやさいもたべよ〜」、ハンドルをにぎって運転しながら「ETCカードがそうにゆうされていません」など聞こえてくる声に思わず微笑むこの頃です。また最近では友達のかかわりも少しずつ増え、「せんせいと○○ちゃんおあそびね」と鬼ごっこならぬおあそびごっこを楽しんだり、気の合う友達とパズルやブロックでひとつの物を完成させたり、友達と過ごす毎日に喜びや楽しさを見出し始めています。

保育者と子どもたち一人ひとりのかわりを大切にしたいので、子どもたちが友達の存在に心地良さを感ずることのできるように、これからも過ごしていきたいと思えます。



(3歳児) (うさぎ組)

3歳児うさぎぐみは元気いっぱい25名の子どもたちです。3歳児というのは、お兄ちゃん、お姉ちゃんにもなりたけれど、まだまだ甘えたいと、とつても可愛い年齢です。そんな子どもたち、寒い日でも朝から園庭に出て、元気に走りまわってあそんでいます。今の時期ではこまわしやたこあげを楽しんだり、皆と一緒にあそべる「ころがしドッチボール」をやったりと色々なあそびを見つけて毎日すごしています。

友だちや保育者と一緒にあそぶことが楽しくなっている子どもたちなので、保育者も一緒にあそびたいと思えます。おもいっきり笑って皆であそぶことって楽しい!!と思えるような保育をしています。

(4歳児) (ぞう組)

4歳児ぞうぐみは、18人のパワフル!ユニーク!にぎやかなクラスです。

かるたあそびや鉄棒など、新しいことにチャレンジしてみたり、鬼ごっこやままごとでお友だちと一緒に遊んだりして楽しんでいきます。

「○○するひとこのゆびとまれ!」「みんな、きいて!」したらえいがやない?」といろんな言葉が聞こえてきます。進級まで残り3カ月。いろんなことにチャレンジできるかっこいい、すてきな年長さんになりたい!!と頑張っているぞうぐみです。

(5歳児) (らいおん組)

5歳児らいおん組は27名の個性豊かなとつてもかわいい子ども達です。

1月からお正月あそびを楽しんでおり、けん玉、こま回し、おじやみ、かるたなどを友達と競い合い認め合いながら楽しんでいきます。

また、集団でのあそびもとても大好きで、ドッチボールや花いちもんめなどを何度も何度もみんなで遊んでいます。子ども達の好きな遊び、やりたい遊びを大切にして、みんなと一緒にという経験ができるような時間を作っています。



朝倉木の丸保育園



朝倉中央保育園



朝倉保育園



地震の避難訓練



南横児童館 訪問



牛つぎせせめ



お店屋さんごっこ



朝倉くすのき保育園



朝倉小学校



昔遊び



夏休み

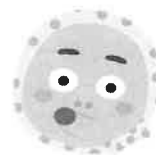


朝倉くすのき保育園本園・分園



朝倉くすのき保育園は、今年開園47周年目、分園は8周年目を迎えます。「土にまみれる子、大地に足を踏ん張って力強く生きる子を育てる」という理念で保育を行っており、その理念は開園以来変わっておりません。未来を担う子どもたちが心豊かに成長することを願い日々の保育にあたっています。子どもたちが成長をしていく姿は本当に嬉しいもので、命が次世代へ引き継がれていく子育ての尊さは簡単には言葉で表現できないものです。子育て期はご両親も何かと大変なことがあると思いますが、ご家族との連携を密にし、保護者様の気持ちに寄り添いながら安心してお子様を預けていただける保育園の運営に努めています。

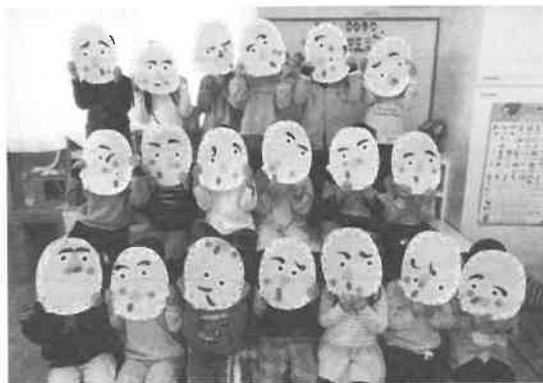
お正月あそび



保育園でのお正月あそびを紹介させていただきます。

本園の年長組は、福笑いをつくりました。目隠しをしてこれは目かな？鼻かな？できあがった顔の面白さに子どもたちは大笑い、「笑う門には福来る」ということわざのように、新年の初めから笑いがあふれました。お部屋には、色んな顔のひょつとこが並んでいます。

分園の年中・年長組は、牛乳パックに絵を描いて羽子板を作りました。二人組でそ〜れ〜！羽根つきは一年の厄をはらい、子どもの健やかな成長を願うそうです。よくあるお正月風景ですが、何げなく日常こそが、一番の贅沢だと再確認した時間になりました。



新型コロナウイルスのニュースを耳にしてからまる3年が経ちました。新年を無事迎え、今年こそ世の中の状況が好転することを願いつつ、本年もみんなで手洗い、消毒、検温をしっかりしながら健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。

朝倉小学校メンター会について～教員の資質・指導力の向上に向けて～

高知市立朝倉小学校 松井成一

1 実施日

いつ	頻度	時間
月曜日	月に1.2回程度	4時10分～（30分程度）

2 主な参加者

注：メンター＝助言する者 メンティー＝助言される者

メンティー	初任者（3名）	2年次経験者（1名）	4年次経験者（1名）	講師（2名）
メンター	管理職	助言者（各会1～2名）	メンター長	

3 実施するうえで、工夫したこと

前年度の反省や、第1回目のメンター会で、メンティーの先生方と悩みや、知りたいことを共有しそれをもとに、内容を決定した。（以降も、会の前にアンケートをとって知りたいことを把握してから会を実施した。）

「明日から使える」ことを目標に、お話をしていただく先生とメンター会の内容の打ち合わせをしたり、メンター会後に実際に習ったことを見にいけるような声かけをした。また、会終了後、メンティーだけでなく、グループウェアで全教職員に研修の概要がわかるような発信をした。

4 本年度、実施した校内学習会の内容の一例

体育授業について学ぼう！（理論・実践編）



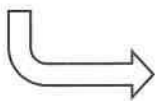
体育主任（清田教諭）に、パワーポイントで体育科における「見方・考え方」を働かせるとは？や、体育の授業構造をどのようにすればよいかなどについて学び、ただ運動させるだけではなくしっかりとした目的をもって活動させることの大切さを学びました。



体育館に移動し、投運動の動きづくりについて教えていただき、実際に体を動かしながら子どもたちに指導する際の、ポイントやコツを考えていきました。紙面上ではわかりにくいことも実際に見せていただくとより理解できました。スポーツテストの全学年実施にむけて、教員自身が指導のこつを理解できたことはとてもよかったです。



「マットあそび・運動」の指導の仕方についても教えていただいた。マットの配置などの場の工夫や、声のかけ方、教師の立ち位置などもお話いただき、他の学級の様子をあまり見ることができない教科でもあるためとても良い研修になっていたと思う。また、低学年からの積み上げが大切だということを理解し、何を教えるのかを教師自身が明確にもち指導することも理解できたと思う。



メンティー以外の先生方も参加してくださり、需要が高い会だったことをうけて、1月のメンター会でも「跳び箱あそび・運動」についてのメンター会を、十津小学校で行われた中四国大会の報告も兼ねて行う予定です。

5 来年度に向けて改善しようと思うことは何ですか？

- ・今年度は、月1.2回実施できるようにメンター会を行ってきたが、校内の様々な会で行うことができなかったこともあった。2学期からは、第〇週目ということで固定した会にできたため、来年度もメンター会を定期的の実施できるよう校内研修に組み込んでもらえるようにしたい。
- ・他校の実践を、コーディネーターの先生に教えていただき、来年度からは司会、振り返りをメンティーの先生方中心に進めていけるようにしたい。
- ・実際に話し合ったり、発言、体験するメンター会もあったが、受け身になってしまう会もあったので、聞くだけの会にならないような工夫をしていきたい。

【学校紹介】朝倉中学校

高知市立朝倉中学校 山田 洋士

日頃より、本校教育活動においてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

コロナ禍の中で、あらゆることが。いままでとは違う形となり、教育現場においても、いかなる形で学校を運営していくか、その都度、問われています。地域全体で子どもたちを育む体制づくりを目指す時代となってきた中で「コロナ禍」は、学校・家庭・地域が連携、協力し、地域の皆様の参画による、様々な教育支援活動にブレーキをかける形となり、地域交流もほとんど止まった状況になっています。改めて、これらの取組を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養することや、将来、この子どもたちが、地域社会全体の教育力の向上の担い手となりうる環境を創造してもらえる活動であると痛感しています。

コロナ禍の中で活動の形を変えていくにしても、地域内連携協議会の皆様の協力をいただきたく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2つの行事を紹介します

「体育祭」九月の開催予定を十月に変更し、応援も三年生だけの少人数で実施したり、協議内容も変

更したりして取り組んだ体育祭でした。

「朝声祭」

全校生徒が体育館で観ることができました。

リモートなどの形で昨年は実施したので目の当たりにしたのは初めてとなりましたが、本校の伝統を紹介できる形となり、よかったです。



体育祭パネル

『朝倉小学校区地域内連携協議会』 団体名簿

朝倉小学校区青少年育成協議会 朝倉地区民生委員児童委員協議会 朝倉校区交通安全会議・交通安全指導員朝倉支部 朝倉小学校区子ども会連合会 朝倉体育会 朝倉まちづくりの会 朝倉地区人権啓発推進委員会 朝倉地区町内会連合会 朝倉地区連合防災会 朝倉地区社会福祉協議会 朝倉地区共同募金委員会 日赤朝倉分区 朝倉地区老人クラブ連合会 朝倉ふれあいセンター運営委員会 高知保護区保護司会西分区 高知市消防団朝倉分団 朝倉小学校 朝倉中学校 朝倉小学校PTA	朝倉中学校PTA 朝倉保育園 朝倉くすのき保育園 朝倉中央保育園 朝倉木の丸保育園 国立大学法人高知大学 米田公民館 宮の奥公民館 朝倉宮の前奥唾内公民館 長田団地公民館 朝倉北城山公民館 あさくらの里 デイサービスセンターさくら あさくらの里 デイサービスセンターすみれ 医療法人みずほ会 グループホームあさくら 朝倉三和会第2老人クラブ 長田団地シルバーパワークラブ 高知市西部地域高齢者支援センター朝倉出張所 高知市社会福祉協議会
---	---

当協議会に参加して下さってる各団体のお名前です。

活動が制約されている状況にありますが、アフターコロナ（もしかしてウィズコロナ？）を見据えて、より多くの団体・個人の参加をお待ちしています。

連絡は事務局山崎：090-1002-2670まで。

◎「軍馬鳳龍之墓」の移設について

国立病院東側の県道拡幅にともない、「ツルハドラッグ」前に仮設置されている、陸軍44連隊和知部隊長の愛馬・鳳龍の墓碑は、「弾薬庫跡」に移設されることになっていますが、跡地が保全、整備され平和遺産として完成されるのは令和8年以降になりそうです。

今移設するとその間、碑を住民は参拝できません。そこで現地での仮移設を継続することにしました。

朝倉まちづくりの会

板原正伸

— 編集後記 —

早いもので、コロナ騒動が始まってのち、三度目の春を迎えます。何の活動もできないままに、無為に月日が流れていくのは歯がゆいばかりなのですが、こんな時でも視点を変えれば違う世界が見えてきます。

近所の水路の殆どがコンクリートの三面張りになったのは30年以上も前のこと。例年の春に行われる水路の愛護作業も随分楽になったのと裏腹に、年を追うごとにドジョウや貝などの川の生き物は減っていき、あれほどたくさん見られた蛍もすっかり見られなくなりました。

そんな中でのコロナショック。作業も二年続けて中止となり、多分、今年も中止の運びとなるのではないのでしょうか。

でも、こと蛍に関しては朗報です。一昨年は一匹、昨年は数匹、復活した蛍を確認できました。作業中止のおかげで、えさとなるカワニナは生き永らえ、周辺に生い茂った雑草も蛍の上陸に一役買うことになったのでしょう。

万事塞翁が馬、今年の夏は蛍の乱舞が見られるかも。